2026 年 11 月

医療機関　各位

日本放射性医薬品協会
会長　村上 雅人

災害発生時における製品供給に関する基本的な考え方について

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は放射性医薬品の安定供給に格別のご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本放射性医薬品協会は、患者さんに必要な放射性医薬品を安定的にお届けすることを重要な使命と位置づけております。

当協会の会員各社は、災害発生時においても可能な限り製造・出荷・配送を継続できるよう、事業継続体制の整備および継続的な見直しに取り組んでおります。また、当協会は、関係法令を遵守し、必要な範囲で会員各社間の情報共有を促進するとともに、関係機関との連携を通じて、放射性医薬品の安定供給に向けた会員各社の取組を支援しております。

また、放射性医薬品には、放射能の減衰特性により、製造後速やかな配送を必要とする製品が多く、災害発生時には製造・物流・診療提供体制が相互に影響を受けやすい特徴があります。また、製造、品質管理および配送には専門的な知識・技能を有する人員による適切な業務遂行が不可欠です。このため、会員各社は、患者さんへの医薬品の安定供給に最大限努めるとともに、製造・出荷・配送に携わる従業員および物流関係者の人命と安全の確保を最優先事項として、事業継続および製品供給の維持に取り組むことが重要であると考えております。

大規模な自然災害の発生により、会員各社の従業員や物流関係者の安全確保が困難と判断される場合には、災害の状況および各拠点への影響を慎重に確認したうえで、会員各社の判断により製造、出荷および配送業務を一時的に見合わせる場合がございます。

その場合においても、会員各社は供給への影響を可能な限り低減するとともに、安全が確保され次第、速やかな業務再開と製品供給の回復に努めてまいります。また、供給への影響が見込まれる場合には、医療機関の皆様へ可能な限り速やかな情報提供に努めてまいります。

当協会は今後も、関係当局、医療関係者および関係団体との連携・情報共有に努めながら、安全確保と放射性医薬品の安定供給の両立を図ってまいります。

謹白